



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員70名 出席57名 出席率81.43 前回出席率82.86% 修正出席64名 確定出席率91.43%

会員スピーチ

ロータリー財団週間に寄せて 「なぜ財団を推進するのですか? その方法は」

国際奉仕ロータリー財団委員会委員長
佐藤 衛 君

《あいさつ》

毎年のこととなりますが、11月14日より20日までロータリー財団週間となります。本日は「平和のための財団」というテーマで16ミリの映画を皆さんにご覧いただきまして、いささかなりとロータリー財団に対するご認識を深めていただきたいと思います。今年度は特にR.I.向笠会長、当クラブ石黒ガバナーがご活躍されている記念すべき年であり、このお二人を後援するためには、ロータリー財団への寄附が一番ということをごさいます。地区大会も成功裡に終わられまして、やれやれというところありますけれども、地区役員の方々、会長経験者の方々、その他有志の方々何とぞよろしくお願い申し上げます。(注：昭和57年8月31日現在の鶴岡クラブのロータリー財団累積寄附額は30,983 USドルであり、累計総額に対するパーセントは4,300%となっております。)

ロータリー財団地区推進委員長
張 紹 淵 君



私たち全会員は“奉仕の理想”のもとに結成された一つのクラブの会員でありまして、かりの職業分類として責任を分担されて、奉仕を毎日、毎日しております。

このことは、我々各自が住んでいる地域社会に均等に“奉仕の理想”を鼓吹推進し、育成している一員であることであります。

その“奉仕の理想”は、いうまでもなく、我々各自が住む地域に職業分類された主人公として、自分自身、自分の家族、自分の職業、自分の住む社会、ひいては、自分の住んでいる世界、地球上へと及ぶように働きかけ、“人類は一つ”(MANKIND IS ONE)とR.I.の今年度のテーマがあるように力を入れるに至っているのであります。

“奉仕の理想”はいうまでもなく、私の心をなく

して、利他的な慈善と教育への奉仕であって、利己的に解釈され得ないことを実行することであり、唯単に、文章や講演でいうことではないのであります。

財団の目的とその規約と、その成果を検討しますと、全く“奉仕の理想”そのものの働きが、如何に大きく、世界のすみずみにまで展開しつづけているかということが理解できるのであります。

そして、財団の目的は①博愛 ②慈善 ③教育 ④貧しい困苦の人々に ⑤災害・天災に遭遇している人々のために確実、かつ効果的な企画を促進しており、この5大奉仕の項目の中でも、教育を先頭に最も大きく展開しているのであります。

その理由は、世界の人口からみて、現在の91万人余りのロータリアンはあまりにも微々たるものでありますので、いち早く、全世界の人々が“奉仕の理想”を理解し、これをもってすれば、調和のとれた世界の一大家族となり、“人類は一つ”(MANKIND IS ONE)という考えになると思われるのであります。

1917年(大正6年)から65年間“奉仕の理想”の働きに協議に協議を重ね、吟味して出来た財団の厳しい規定と、厳しい選択があればこそ“奉仕の理想”の働きが大きく世界に貢献することができるものと考えられるのであります。

微々たるロータリアンが、現在の調和のとれていない、不景気な世界状況の中で、進んでポール・ハリスフェローに寄金をよせると同時に、調和のとれた、無理のない、知らず知らずの寄金のみならず、大衆の財団への小さい寄金も重要であり、“奉仕の理想”の推進に大いに役立つものであり、誰でも、気軽に、何処でも寄金が出るように、忘れることなく行えば、“人類は一つ”そして世界の人々も感謝と幸福の中に等しく暮らせる日が早く来るであろうと考えるのであります。

即ち“奉仕の理想”は財団の推進だと言い切れませんので、どうか皆さまには、何時でも忘れずにより一層の財団のご協力をお願いして、残りの時間を、「平和のための財団」の映画を上映させて頂きます。

このあと、「平和のための財団」の映画が上映されました。世界各国の奨学生に対する支援、低開発国・発展途上国で病気や貧困に苦しめられている人々に対する支援等でのロータリー財団の地道で、たゆみない活躍ぶりが紹介されました。

庄内空港の建設を推進しましょう

職 場 紹 介



名 称 アサヒハイヤー株式会社
代表取締役社長 池田 弘
事業内容 タクシー業

昭和41年10月新潟陸運局の認可を得、小型車5輛を以て営業を開始、44年には無線機を設置し、以来16年順調に伸びて来て、現在中型車2輛、小型車15輛、従業員34名の事業規模になったのであるが感慨深いものがある。

開業当時、幸い一回の申請で認可が降りたのであるが、旧市内老舗3社夫々30台位、市内約100台の中に入って果して商売になるか如何か、不安の中で出発したのであったが、お蔭様で市民の温かい援護

の下に順調に伸びて来て現在に至っている。

由来ハイヤー業の申請は非常に厳しくこれが準備の為約2年間の雌伏期間が要ったが、ハイヤーとタクシーは夫々申請が違い、現在タクシー営業は東北に於ては仙台市と新潟市のみ。最近になって各県庁所在地が一部認可を認められたのである。これ以外の我々一般業者はハイヤー営業(貸切)の認可を申請するのであり、電話注文以外は走ってはならないのが建前になっており、タクシーの拾い客専門の申請とは異なっているのである。但し、東京のハイヤー専門の業者(料金は顧客との相互協定であり、メーター器を付けていない)と違い、料金メーターを付けており、その県その県で一定料金制である。業界ではハイ・タクという通称で区別しているが、現在県庁所在地以外のハイヤー会社は皆之に属しているのである。

機会があったのでハイヤーとタクシーの違いに触れたが、尚去年56年よりハイヤー会社のタクシー行為が認められたのも時代の故であろう。

我々ハイヤー業者は何より無事故である事が、又顧客へのサービスを第一と考えているが、社是として「事前配慮・サービスの徹底」をモットーとしており、お蔭様で47年には無事故無違反で県表彰を受けておる。又本年6月には無線の運用管理体制良好と云う事で東北表彰を受けており、これを機会により一層の内容充実を計り、無事故によるサービス、親切丁寧によるサービスの徹底を期したいと願っている。

会 長 報 告

中江 亮君

- 地区組み合わせマッチドクラブのことに付いて国際ロータリー417地区(メキシコ)のZACATEPECクラブから当クラブを選んだから直ぐクラブ会長のENRIQUE Garza Valverdeとコンタクトしてほしいという手紙が届きました。この処理の仕方について地区ガバナーに指示を仰いでおります。
- 去る14日、三瀬の琴平荘に於て年次大会についてクラブ反省会が開かれ、幹事団からご報告の後、懇親会に移りましたが、佐藤忠大会幹事始め役員の皆さん、そして会員の皆さん本当にご苦勞様でありました。改めてお礼を申し上げます。
- 本日午後4時から第3回クラブ協議会が開かれることになっていますが、各委員長さんから十分ご報告とご意見を承りたいと思いますのでよろしく願います。
- 今日はロータリー財団週間でありますので、佐藤衛財団委員長のお話の後、張紹淵地区委員長が映画を上映し乍らお話があります。
- 11月2日の理事会に於て、会員増強を推進するため委員を2名増すことに決められましたので、大変ご苦勞様ですが、ベテランの渡部利夫さんと早

坂重雄さんのご両人に現委員を兼任の儘お願いすることに致したいと思います。どうぞ目標達成のため一肌おぬぎいただきたいと思ひます。

幹 事 報 告

佐藤元伸君

- 会報到着
東京R.C. 米沢R.C. 米沢西R.C. 豊原R.C.
- クラブ協議会
日 時 11月16日 P.M. 4:00~
場 所 鶴岡産業会館4階第1会議室
登録料 1,000円
- 次回例会は11月30日です。11月23日は祭日の為休会です。

ビ ジ タ ー

温海R.C. 佐藤五右エ門君
鶴岡西R.C. 佐藤 拡君
菅原年雄君
野口 弥君
長南朋養君
三浦正志君

(今週の担当者 中江 哲夫)